

既存診療データから予測を行う人工知能に関する研究

1. 研究の対象

2000年1月以降当院で診療、健診を受けた方

2. 研究目的・方法

既存の診療データ、健診データを活用して、診断の精度向上や治療効果を予測する人工知能の開発。通常の医療や健診において取得される画像検査（レントゲン検査・骨密度検査、CT検査・MRI検査等）、血液検査、診療録情報（性別・年齢・既往歴等）、を用いて人工知能で学習を行い、診断用の人工知能モデルを構築する。

研究期間 ～2027/3/31

利用又は提供を開始する予定日：2023年1月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：画像データ、採血データ、アンケートデータ、病歴 など

4. 外部への試料・情報の提供

名前やカルテ番号などの情報を削除した上で、データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

住友病院 杉浦剛

大阪大学医学部附属病院 藤森孝人

奈良先端科学技術大学院大学 大竹義人

富士武史 北大阪ほうせんか病院 院長

武中章太 地域医療機能推進機構大阪病院 整形外科 部長

岩崎幹季 大阪労災病院 整形外科 副院長

佃 幸憲 小樽市立病院 整形外科 主任医療部長

村瀬 剛 ベルランド総合病院 整形外科・副院長

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科整形外科講座 藤森孝人